令和8年度　　大津商業高等学校　学校評価

本年度の重点目標

・魅力あるビジネス教育（商業教育）の推進
・希望する進路実現のためのバランスの取れた学力の育成
・部活動および特別活動の活性化
・社会人としての望ましい基盤の確立

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価（10月）	総合評価（3月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	商業高校として、魅力ある商業の学びを地域と連携しながら推進している。	A		
	教育目標、教育方針、指導内容や評価の基準等を明らかにし、地域に根ざした開かれた学校づくりに努めている。	A		
2　学習指導	ICT機器を活用し、個に応じた学習指導を進め、基礎・基本の定着を図り、学力の向上に努めている。	A		
	教務部と各教科、学年との連携を密にし、授業改善に努め、生徒の学習意欲を喚起し、学習効果を高めている。	A		
3　生徒指導	心身の健康の大切さを理解させ、規則正しい生活習慣の確立を目指す指導に努めている。	A		
	挨拶や交通マナー等の規範意識の確立に、生徒一人ひとりが主体的に取り組めるよう努めている。	A		
	いじめの未然防止・早期発見に取り組み、いじめのない学校づくりを進めている。	A		
4　進路指導	望ましい職業観・勤労観を育み、就職・進学指導の充実を図るなど、生徒の進路実現に努めている。	A		
	適切な進路情報を提供しつつ、生徒が進路実現に主体的に取り組む姿勢を確立させる指導に努めている。	A		
5　特別活動等	生徒会行事やボランティア活動等の自主活動の活性化や充実に努めている。	A		
	部活動の活性化や充実に努めている。	A		
6　学校図書館	定期的な「図書だより」や読書指導を通じ、読書の啓発を行っている。	A		
	図書の整備を行い図書に関する情報等を提供し、イベント等を実施し図書館の利用促進に努力している。	A		
7　保健・安全指導	生活環境や生活様式の変化に対応し、教育相談や特別支援教育の充実を図り、心身の健康を保持・増進できるよう指導している。	A		
	生徒の健康管理と病気の予防に努め、事故等への対応を適切に行う体制を整えている。	A		
8　人権教育	人権意識を高め、いじめや差別を許さない明るく生き生きした生徒を育成している。	A		
	3年間を見通した人権教育の実施計画を策定し、各学年に応じた人権教育を行っている。	A		
9　環境教育	校内のエコ活動を通して、生徒の環境保全に対する意識を育てている。	B		
	毎日の清掃活動を中心に、環境美化に努める指導を行っている。	A		
10　事務・管理	文書管理を適切に行っている。	A		
	学校は省エネと資源の再利用に努めている。	A		
11　その他 学校の取組	「しが未来クラフトプロジェクト事業」「高校版DMO観光ビジネスプロジェクト事業」等を十分活用して効果的な教育活動を推進している。	A		
	本校の教育活動を中学生や地域に積極的に情報発信し、広報に努めている。	A		

（注）・評価表の見方：　6月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
10月　中間評価（自己評価）の公表（8月までの教育活動に対する中間評価）ABCDの4段階評価で示す。
3月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ABCDの4段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ABCDの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。

学校のURL：https://www.daisho-h.shiga-ec.ed.jp/